



平成 23 年 12 月 9 日

各 位

会社名 株式会社石井表記  
代表者名 代表取締役社長 金尾 尚明  
(コード番号 6336 東証第2部)  
問合せ先 取締役IR室長 江田 利幸  
(TEL 084-960-1247)

## 特別損失の計上および平成 24 年 1 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 1 月期第 3 四半期連結会計期間において特別損失を計上するとともに、平成 23 年 9 月 9 日に公表しました平成 24 年 1 月期通期（平成 23 年 2 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日）の業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 特別損失の計上

#### (1) 固定資産の減損損失

当社グループは、平成 24 年 1 月期第 2 四半期連結会計期間において太陽電池ウェーハ事業を大幅に縮小しておりますが、平成 24 年 1 月期第 3 四半期連結会計期間において、同事業に係る固定資産の減損損失を連結および個別に 81 百万円追加計上いたします。

#### (2) 子会社整理引当金

平成 24 年 1 月期第 2 四半期（個別）会計期間において、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴い、子会社である石井表記ソーラー(株)の解散および清算決定により、平成 23 年 8 月 31 日公表の「貸倒引当金、特別利益、特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しおよび業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、子会社整理引当金を個別で 34 億 7 百万円計上し、平成 23 年 9 月 9 日公表の「特別損失の計上および平成 24 年 1 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、子会社整理引当金を個別で 6 億 66 百万円追加計上し、合計で子会社整理引当金を個別に 40 億 74 百万円計上しておりましたが、平成 24 年 1 月期第 3 四半期（個別）会計期間において、同社の債権および保証債務引当金を子会社整理引当金として個別で 1 億 83 百万円追加計上いたします。その結果、第 3 四半期（個別）累計期間において子会社整理引当金が 42 億 57 百万円となりました。

#### (3) 投資有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 24 年 1 月期第 3 四半期連結会計期間において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じ、連結および個別に 66 百万円計上いたします。

上記を主な要因として、特別損失が平成 24 年 1 月期第 3 四半期連結累計期間で 63 億 28 百万円、平成 24 年 1 月期第 3 四半期（個別）累計期間で 87 億 71 百万円となります。

## 2. 平成 24 年 1 月期通期業績予想の修正

### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,779	百万円 △2,371	百万円 △2,255	百万円 △8,437	円 銭 △1,075.42
今回修正予想(B)	12,359	△3,203	△3,150	△9,485	△1,209.02
増減額(B-A)	△420	△832	△894	△1,048	—
増減率(%)	△3.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 1 月期)	17,152	△157	△131	△889	△110.38

### (2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,678	百万円 △340	百万円 △243	百万円 △8,708	円 銭 △1,109.99
今回修正予想(B)	12,227	△1,248	△1,191	△10,076	△1,284.31
増減額(B-A)	△450	△908	△948	△1,367	—
増減率(%)	△3.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 1 月期)	17,137	530	603	△163	△20.31

### 修正の理由

#### (1) 売上高

電子機器部品製造装置セグメントにおいて、太陽電池ウェーハ製造装置の納入時期が未確定となったことを主な要因として、売上高が連結で 123 億 59 百万円、個別では 122 億 27 百万円となる見通しとなり、平成 23 年 9 月 9 日公表の平成 24 年 1 月期通期の売上高を修正するものであります。

#### (2) 営業損失

電子機器部品製造装置セグメントにおいて、太陽電池ウェーハ装置の納入時期が未確定となったことにより売上高の減少に伴う営業利益が減少したことに加え、該当する仕掛品について平成 24 年 1 月期に納入する予定であった仕掛品および翌期以降に納入する予定の装置について評価損とし、売上原価に連結および個別で計上したことを主な要因として、営業損失が連結で 8 億 32 百万円悪化し 32 億 3 百万円となり、個別では 9 億 8 百万円悪化し 12 億 48 百万円となる見通しとなり、平成 23 年 9 月 9 日公表の平成 24 年 1 月期通期の営業損失を修正するものであります。

#### (3) 経常損失

営業損失の予想修正により平成 24 年 1 月期通期の経常損失が連結で 31 億 50 百万円、個別で 11 億 91 百万円となる見通しとなり、平成 23 年 9 月 9 日公表の平成 24 年 1 月期通期の経常損失を修正するものであります。

#### (4) 当期純損失

経常損失の悪化および平成24年1月期第3四半期連結会計期間において、上記の特別損失を計上したことを主な要因として、平成24年1月期通期の当期純損失が連結で10億48百万円悪化し94億85百万円となり、個別では13億67百万円悪化し100億76百万円となる見通しとなり、平成23年9月9日公表の平成24年1月期通期の当期純損失を修正するものであります。

#### <業績予想に関する注意事項>

この資料に記載しております業績予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますので、多分に不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより、この資料に記載している業績の予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

以 上